

## 平成20年度 F3C ラジオコントロールヘリコプター日本選手権

### 日程およびスケジュール

10月 3日(金)	1ラウンド スケジュールA	42名	(目慣らし飛行あり)
4日(土)	2ラウンド スケジュールA	42名	1,2ラウンドのベストスコア上位15名が決勝に出場する。 16位以下は予選ラウンドの成績で決定する。
5日(日)	決勝1R、2RスケジュールC	15名	目慣らし飛行は予選16位の選手がおこなう。(1Rのみ)

競技は原則として予選1,2ラウンドと決勝1,2ラウンドをおこなうが、予選会期2日の内、天候の都合で1日しか予選を実施出来なかった時は1ラウンドのみとする。予選1位~15位までの選手は決勝飛行をおこなう。予選ベストスコアと決勝1,2Rをカウントした3個のスコアからベスト2個のラウンドのスコアを合計して順位を決定する。16位以下は予選の成績で順位が確定する。

### 競技規則

FAI F3C2006年規定スケジュールAおよびC、平成20年度審査員講習会統一見解事項を含む。  
演技時間の計測はA、Cともスタートサークルを出発した時から計測する。(スタートサークルでの時間が5分以内の場合)  
**演技時間:スケジュールA 10分、スケジュールCについて今年度は暫定として11分とする。**  
**スタートサークル準備時間(エンジンスタート)の合図**は前の選手が、A3またはB3の演技の演技を**終了後**、または前の選手がスタートサークルを出発して**6分後**、どちらか早いほうで合図をする。

### 機体検査

**選手全員を対象に競技中に随時行う。1ラウンド目のフライトの終わった選手は送信機を戻した後、自発的に本部で機体検査を受けて下さい。**

### 採点および計算

採点は5名の審査員による一演技毎の上下カット。  
成績は2002年規定の1000分率で計算する。  
飛行禁止空域侵犯をした場合はそのラウンドは0点となる。  
タイムオーバーがあった場合は該当演技を含め以後は0点となる。

### 同点の処理

1位と2位、6位と7位が同点であったときは次のように処理をする。  
1. 捨てたラウンドの1000分率計算成績を加算する。  
2. それでも同点が解消されないときは素点数の高い方を上位とする。  
3. それでも、同点が解消されない場合はフライトオフを直ちにおこなう。

### 選手権の成立

天候の不良で全ラウンドを消化出来なかった場合は、完全に1つのラウンドが終了していたならば、1つのラウンドだけでも選手権は成立する。

### 中断について

1ラウンド目に天候不良のため競技が中断した場合、待機時間の合計が1時間を超え日の入り時刻17時までには全選手の飛行が完了しないときは1ラウンドの中断として不成立とはしない。この場合2日目のフライト順は抽選順でなく1ラウンドの中断後の選手からとする。  
2日目が天候良好で全員のフライトが完了した時は1ラウンド中断までの成績を破棄して1ラウンドを不成立とする。

### 2009年F3C世界選手権出場選手選抜会出場選手について。

平成19年度日本選手権成績と平成20年度日本選手権成績を合計した上位の選手が2009年F3C世界選手権出場選手選抜の対象となる。

**選抜会は10月25~26日に宇都宮市鬼怒グリーンパークで開催する。**

平成19年度および平成20年度日本選手権予選成績の合計で上位より20名の選手に参加申込書を渡します。期日までに申し込み手続きを完了した選手でおこないます。

### 安全について

風速8m/secが継続して20秒計測された場合は競技を中断する。

その後15分~30分ごとに再計測して状況を見る。

小雨で風が無い場合は競技を進行するので送信機の防水対策は選手個人ですること。

**オート口以外の着陸でテールローターブレードが地面に接触した場合は安全のためその時点でそのラウンドは終了となりますので充分注意してください。審査員全員合意の場合**

### 遵守事項 (選手全員が公平に同一条件で競技に参加するための取り決めです)

**スタートサークルでの飛行(高度アイレベルまで、選手と機体の向きは180°以内、ただし対面飛行は禁止する。)**違反者はそのラウンドは終了となる。

**スタートサークルからヘリパッドまでの飛行**は選手、機体とも15~20Rの進入経路に沿って高度アイレベルまで、選手と機体の向きは180°以内で飛行すること。

**スタートサークルでの待機**(前の選手が最後から3番目の演技が終了したら、機体を降ろし、エンジン回転をアイドリングに下げる)

## 騒音ペナルティについて

次の条件に一つでも該当した選手はペナルティ(減点)の対象となる

1. スタートサークル内での測定値が85dBA以上である。**87dBAを超えてはならない。**
  2. 静演技ホバリング時のメインローター回転数がスターティングボックスで測定した回転数を100rpm以上、上回った場合。
  3. 審査員の5分の3が飛行騒音を大きいと判断した場合。
- 減点は素点数の3%をカットする。

## 燃料

**JMA認定シール(F3C)貼付の低オイルまたはエコロジー燃料を使用しなければならない。**

全ラウンドとも**燃料タンクは空の状態**で給油ピットで役員立ち会いのうえ給油する。決勝ラウンドは給油の際、サンプルの提供を要求することがある。

## 電動機

外部電源の使用は禁止する。

## 保険

模型飛行士登録については参加全選手の有効を確認済みです。

人的、物的事故があったときは、その選手個人の責任で処理をすること。

## 競技フィールド

**会期中、各ラウンド開始前の飛行を禁止する。**違反者はそのラウンドには出場出来ない。  
競技終了後は飛行場閉鎖時間まで、選手間の管理による練習飛行は出来る。

## その他

フリーパス:決められたフリーパス以外にフリーパスがあった場合は以後の演技科目は0となる。

演技科目の順序を間違えた場合、間違えた演技科目は0となる。

スタートコール前であれば演技科目名の訂正は認める。

コール:採点は開始コールから終了コールまでを採点する。全審査員に明瞭にわかるようにコールをすること。全審査員がコールを確認できないときは0とする。

その他、ここでふれていない事項については**2006年競技規定**の解釈のとおりとする。

**競技場(駐車スペースを含む)でのアルコール飲料の飲用は禁止です。選手、役員、関係者の方は遵守してください。**

## 日本選手権抗議手続き規定

不服の申し立て:選手は不服の申し立てを競技委員長に口答により行うことが出来る。

異議の申し立て:この件に関する競技委員長の裁定に不満の場合、選手は直ちに異議の申し立てを書面により保証金を添えて競技委員長を経由して陪審員に提出する事ができる。保証金は3万円とし、申し立てが承認された場合に限り返却する。

### 申し立ての提出期限

- A) 競技開始前:参加の有効性、競技者の資格、競技規則、飛行場、模型の検査、競技場、審査その他の競技役員などについての申し立ては競技開始の少なくとも1時間前までに行わなければならない。
- B) 競技中:審査員その他の競技役員による決定事項についての申し立て、あるいは他の競技者が競技中に犯した違反行為または不法行為についての申し立ては直ちに行わなければならない。
- C) 成績発表後:成績に関する申し立ては主催者が成績を発表した時から15日以内に行わなければならない。

## 送信機の保管

8時00分から8時15分までに送信機を預けること。

休憩:6名ごとに5分間の休憩をとる。ただし選手はスタートサークルで待機しエンジンスタートの準備をする。

## スタート順の抽選

1ラウンド目の1番目にフライトする選手を抽選する。

フライトオーダー順に飛行し、2ラウンド目はプラス21番目の選手からフライトする。

1日目が中断で全員が飛行できなかった場合は前項の中断についてのとおりおこなう。

決勝ラウンドの飛行順については出場15名が決定した時点で公開抽選を行う。

2008.8

日本模型航空連盟 RCヘリコプター委員会